MKBT
IRAI OUKA ASEBALL EAM

進化無限

発行:美来工科高等学校 硬式野球部
2026(令和8年)11月9日 月曜日
Where there is a will,there is a MIRAI.

延長11回!美来工科、死闘制す!
浦崎、魂の決勝打!タイブレークの奇跡

■浦崎、勝負強さ輝く!

延長十一回タイブレークの死闘で、最も強い輝きを放ったのは浦崎政義(電)だった。四回に二塁打を放つと、六回には一点差に迫るタイムリー三塁打を放ち反撃の口火を切った。そして迎えた延長十一回無死一、二塁。浦崎が放った打球はセンターを破る走者一掃の勝ち越し三塁打。ベンチを歓喜に包む一打で試合の流れを一気に引き寄せた。この日は四打数四安打三打点の大活躍。攻撃の中心として躍動した浦崎が、劇的勝利の立役者となった。


円陣の中心でチームの闘志を奮い立たせる浦崎政義 =Enagic ｽﾀｼﾞｱﾑ名護（ヂャン宮城撮影）

TEAM	3	4	5	6	7	8	9	10	11	R	H	E
美来工科	0	0	0	3	0	0	0	0	5	8	16	2
那　覇	3	0	0	0	0	0	0	0	1	4	10	1

TM	美来工科	里
1	9	冨
2	8	上
3	7	我
4	5	川
5	6	徳
6	3	浦
7	D	諸
8	4	呉
9	2	新

咕	満	門	崎	里	見	屋	里
洲	江	城	里	屋	里	原	汰


先発で九回を投げ切った池原慶汰

一年生中央大会1回戦で美来工科高校が那覇高校と対戦。延長十一回タイブレークまでもつれる激戦の末、16安打8得点の猛攻で8対4の勝利を収め、初戦突破を果たした。

■池原粘投、追う展開から反撃

3点を追う苦しい展開でも諦めなかった美来工科は、一年生らしからぬ粘り強さを発揮。先発・池原慶汰(機)の力投を背に終盤に追いつくと、延長十一回には打線が一挙5得点の猛攻を見せ、熱戦に終止符を打った。初戦から示した勝負強さは、今後の快進撃を予感させる内容だった。

二回戦 - 具志川球場 -
11/9(月)11:30 vs 糸満高校

11/8(日) 第51回県高校野球一年生中央大会vs那覇高

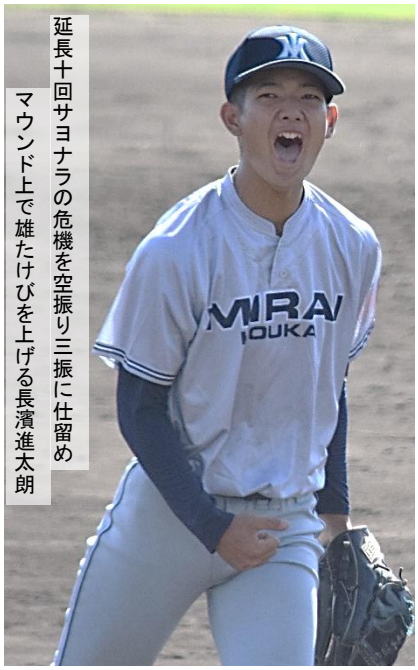
延長の窮地を救った島袋、長濱

■勇気の継投で流れ呼び込む

延長十回裏。無死一、二塁から始まるタイブレークを迎え、美来工科は九回を投げ切った池原から島袋慎之介(電)へスイッチ。犠打で一死二、三塁のピンチを背負うも、次打者を浅い左飛に打ち取り三塁走者の本塁突入を許さない。


タイブレークから急遽登板
気迫の投球で後続を断った島袋慎之介

なおも二死二、三塁、一打サヨナラの窮地でマウンドを引き継いだ長濱進太朗(電)は、大きな重圧をはねのけ空振り三振を奪って最大の危機を脱出。この力投で流れを引き寄せると、直後の十一回表に打線が一挙五得点の猛攻を見せた。


延長十回サヨナラの危機を空振り三振に仕留めマウンド上で雄たけびを上げる長濱進太朗

■攻撃陣の活躍

・浦崎政義(電)　4打数4安打3打点
・上江洲英大(電)　6打数3安打1打点
・徳門正之介(電)　5打数2安打1打点
・我如古琉久(機)　5打数2安打
・諸見里安矢翔(機)　4打数2安打1打点
・座間味一琉(電)　代打で貴重な適時打
・冨里和哉(電)　延長11回に値千金のタイムリー三塁打

チーム全体で16安打。最後まで攻め続ける姿勢が大逆転勝利につながった。


イエーイ、猛打賞！
6浦崎政義(一塁手)
騒ぐなシーツ
7諸見里安矢翔(DH)


2上江洲英大(中央手)


3我如古琉久(左翼手)


1冨里和哉(右翼手)


はーい。迷子見つけましたぁ
機動力で相手を揺さぶる
代走・真栄城寿輝(機)


7(代打)座間味一琉(DH)

ヨッシャーッ、二回戦じゃ。みんな迷子になるなよー。


5徳門正之介(遊撃手)




勝利の瞬間
ﾍﾞﾝﾁから飛び出すﾅｲﾝ


先発・池原
ﾋﾟﾝﾁを脱し安堵の表情を浮かべる


3度のﾀﾞﾌﾞﾙﾌﾟﾚｰでﾋﾟﾝﾁを脱した！

守備もいいぞ★美来工科！


9捕手・新里康太(土)、二回無死一塁、捕手牽制でアウトッ！


八回、抜ければピンチの鋭い右飛を好判断で追いかけアウト！右翼手・冨里

九回一死、那覇の代打の打球は左中間深くを襲う長打コース。しかし、


息の合った中継で三塁ﾀｯﾁｱｳﾄｯ！